



御祖の教え

第六十一号

《発行》
宗教学人 大和教本廳
〒985-0053宮城県塩釜市南町6-5
TEL.022-362-1392
FAX.022-362-2991
編集 広報部
印刷 仙台市青葉区小田原5-1-53
有限会社 エイブル・フォー
定価 1部 50円

とどく祈り とどく供養

平成三十年・大神様御託宣

本年は人災・天災数多し我、大難を 小難に小難を無難に加護しやる

大和教新春恒例の新年の御神託祭は一月八日、初月次祭終了後、午後二時より修練道場に於いて厳かに齋行。新春の神気ただよう大前にて齋主教祖様により、大和御祖大神をはじめ祓戸大神、大年大神、大黒神大神等をお迎えして約一時間にわたり今年一年間の数々の尊い御言葉を賜りました。

更に大黒神大神は参列者の歌声と共に、教祖様により大黒舞を舞われ、新年をお祝いされました。



祓戸大神様御言葉

信者等にありては、常にも祖神と教えの祖の論しに従い忠実に実行実践、心の学びをなしゆかんと心掛けお祈りし事は見届けおれども、まだまだに勝手なる手合わせの者も数多し、これではなるまい。誠の信仰の道が如何なるものであるかをしっかりと認識し直して、どの身上らも祖神と教えの祖にしかと報いる事の出きうる学び修めをなしゆかねばなるまい。中途半端の理解であつてはなるまいぞ。信仰のなんたるかは無論、家棟の咎のなんたるか、方位方災のなんたるか、己らの先づ親ら先祖の供養功德のなんたるか、しかと基本にのっとりて正しき知識を身に修めゆかねばなるまい。学び修めたる知識を家族の身上らを始めそなたらの友人知人身の周りの身上らにしっかりと伝えをなして、どの身上らもそれなりの幸せを勝ち取りゆきし事の出きうるよう互いに手をたずさえ、神拝詞に謳う

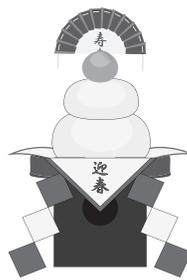
であるがごとくにどの身上らも尚今年度は更にも心引き締め肝に塩して歩みゆかねばなるまい。

天災も数多し、それに加え人災も更にも増えゆく、その不安の中において如何ように己らは安泰の道を歩みゆか事が出きうるか否かはそれぞれ心掛けにもよる。又国を操り動かす諸人達その者達を選び出すもそなたら一人一人である。国の先行きを案じゆくものであらば近道においてはそれらの国を操る諸人を更にも動かしゆけるだけの知恵と人脈と力を持ち合わせる者達に奮起なしてもらわねばなるまい何事もありても如何なる事が起きうるとも必ずや良き対処をなしゆくことの出きうる心構えが大事であろうぞよきかなよきかな。どの身上らも年の始めにあたりてよくよくに己が身の事柄を整理整頓なしみよ。整理整頓なして今年度の方針をどの身上らもしっかりと立て上げてその方針を確実に進めゆかねが為には

初春の御神殿



迎春



平成三十年 元旦

大和教本廳

- 宗教学人 大和教本廳
- 管長・教祖 保積 敬子
- 副管長 保積 堯長
- 副管長 保積 紋子
- 責任役員 光永 輝彦
- 同 矢部 勇
- 同 柏 佑整
- 同 古川 弘
- 相談役 古川 昌則
- 特別顧問 徳田 俊彦
- 同 佐藤 恭一
- 顧問 今野 薫
- 同 跡部 薫
- 御造宮奉賛委員会
- 会長 柏 佑整
- 委員長 中村 望
- 副委員長 玉川 徳男
- 同 古川 弘
- 役員一同
- 名誉総代 斎藤 忠良
- 信徒会名誉会長 三浦 金一
- 信徒会
- 会長 千葉 藤男
- 副会長 片倉美枝子
- 同 小野寺脩人
- 役員一同
- 教祖秘書 保積 憲秀
- 大和教本廳職員一同

六根行

毎月三日〜八日まで

六日間

午前十一時より

初めての方にはわかりやすく、いねいにご指導致しますのでぜひご参加ください。

大和御祖大神様御言葉

おどしのおおかみ 大年大神、御年大神、
わかどしのおおかみ 若年大神、八百萬の大神達
集いてそなたらに誠の諭し
与えゆきしぞ。よきかな。

今しこれ世の様において諸
問題数重なり諸外国との交
流におきても頭を痛めゆく
問題が数重なりおる。その
事の解決を果しゆかんが為
には、そなたらが如何に地
団太踏みて心奮い立たすと
言えども決定権を持つは国
を操る政人らである。さすれ
ば今し祓戸の神も述べたるが
ごとく 世の中にありてそれ
なりの地位のある者 力のあ
る者知識がある者らが更に
奮い立ちて政人らに良き影響
を与えゆくべく働きかけが尚
大事と思わる。国の歩みに
誤りのなきよう指導教育もし
くはそれなりの影響を与えゆ
きし事のできる人格者らが
ふえねばなるまい。そなたら
にありては如何ようなる事か
あると言えどもしつかりと生
き延びゆかねばならぬ。そ
れぞれに心の準備を怠りなく
果しおきし事が大事であろ
う。天災が起きたる際は如
何ようになすか又経済の破
綻が起きたる時は如何よう
になすか それぞれ又そな
たらの近親者にありて又友

人知人身近なる者に何がし
かの難が降り懸かりたる時に
は如何ようになすか己自身
に懸かり来たる際には如何に
処するかをどの身上らも今
年度にありてはそれぞれに心
構えをしかと果しおきし事が
大事であるぞ。天災にあり
ても油断は出来えずよきか
な。まだまだに起こりうる、
我が日本(ひのもと)の地
盤も緩みおる事なれば多少
の刺激によりて大いに影響を
受くる。又海の事故 空の
事故 機械を操るはひとであ
る。その、人の心が乱れおる
がゆえに々当然機械の点検
等にも不備が起こる。それゆ
えに尚 事故にもつながりゆ
く。今なる世の中乗り物に
ありても速度ばかりを追い求
めおる。しかしながら速度の
みが乗り物ではあるまい。時
間の短縮のみを只々追い求め

おつてなんとす。その辺
もそれなりの所にて止めおく
が無難と思わるれども考う
る々諸人達の心根や如何に。
その辺々もそれぞれに己に
関係が無いと思うのではなく
よくよくに世の中に至るの動
きをどの身上らも掌握なし
おきし事と見ゆるぞよきか
な。農作物にありて々は、
天災が起これば無論嫌が応
にも影響なす。食す物にあ
りては個個人が出来うる々
対策を立ておかねばなるまい
ぞ。保管の利く物等しつかり
と心の準備を果しおきし事
が大事であらう。作物にあ
りては人体に害となる物も
数多し、選ぶのは己らである。
しつかりとした知識を身に付け
ておかねばそれらとして選ばれ
まい。故に学びが大事である。
知識が大事である情報も大
事である、よきかな。人体



に害となる物を嫌が応にも口
に入れねばならぬ世の中であ
る。さすればそれらの害を
如何に取り除きゆくか如何
に浄化なしゆくかその辺
もよく考みて己を守るは己
自身よきかな心せよ。
どの身上らも今年度はその
ようなる事を肝に命じて如
何なる事態生じようともあ
わてず対処できる体制とすべ
し、よきかな。
この一年、事故 災難無く
病難無く幸せの年と果しゆ
きしがよいぞ 加護しやる。

大黒様御言葉

我大黒神、どの身上らも
新玉となり祖神、祓戸大神
の御諭し心にしかと受けお
さめたるか。役員の方らにあ
りて尚しつかりと今年度は集
いていかように信者等を指導
なしゆきしか、又、計画ご
と如何ように進めゆきしか
を考みねばなるまいぞ。どの
身上らもよくよくに声に出し
口に出し己らが信仰をなす
祖神のありがたさを広げゆく
事が大事でなきか。そのこと
の実行実践の年とせよ。我
よくよくにそなたらの動きを
観察なすことにしよう、よき
かな。その動きいかにによつ
ては、我のそなたらへの働き
かけも当然ちこうてゆくぞ。

よきかな々。心せよ。
どの身上らも楽しきひと
時であつたるぞ、我 加護し
やるぞ。



修祓を執行する紋子祠祖様



うまさで評判！ラーメン専門店

お り 久 きゅう

住 所 仙台市青葉区落合2-1-1
電 話 022-797-6335
営業時間 平日 11:00~15:00 17:00~20:00
土日祝 11:00~15:00
定 休 日 月曜日・第3日曜日

とつらぎの店

真 由 美

定禅寺通り 仙台リッチホテル国分町 3F
〒980-0803 仙台市青葉区国分町2-14-25
☎ 022(212)6836

今こそ大神様のみ教え・み心の実践の時!

平成29年度
秋季例大祭「感謝祭」を斎行

御神徳に感謝 護摩祈祷も厳修



大神様の御恩徳と御守護に感謝の誠を捧げると共に、信徒の請願成就を祈請する大和教本廳恒例の秋季例大祭「感謝祭」は、穏やかな天候に恵まれた十一月五日午前十一時より本廳御神殿に於いて盛大に斎行されました。

多くの信徒が参列するなか先ず光永輝彦祭典委員長挨拶のあと直ちに開催。儀式は齋主一拝の礼の後紋子嗣祖様により祝詞の奏上、大麻祓の儀を執行、続いて齋主教祖様が大前に秋季例大祭「感謝祭」の祝詞を奏上、同時に護摩祈祷を厳修。齋員により祈願芳名簿の読み上げがなされる中、護摩壇の中に次々と護摩儀が投げられ、祈願者



一人一人の諸願成就の御祈祷が執り行われました。このあと、齋主教祖様、責任役員、来賓、奉仕者代表、地区代表、参列者代表の順にて玉串奉奠をなし齋主一拝の礼。次にご来賓よりご祝辞を頂戴し、最後に教祖様のご挨拶とお言葉をもって神事の部を終了。

続いて午後一時三十分より修練道場にて直会が開始され、祝辞、祝電披露の後、鎌田孝一さん、赤石悦啓さんに対して大和教への日々の功績を讃える感謝状を授与、続けて教祖様に花束の贈呈が行なわれました。このあとにぎやかに芸達者な信徒の皆さんによる踊りやカラオケ、そして豪華な賞品が当たる抽選会などが



秋季例大祭
感謝状授与者名
鎌田 孝一殿
赤石 悦啓殿

次々といわれ、本年感謝祭の全てをどごうりなく終了致しました。

人それぞれに持つて生まれた星に従い、来たる年の厄除開運を祈請する冬至星祭りは、十二月二十一日午後七時より本廳御神殿に於いて厳かに斎行されました。

儀式は、齋主一拝の礼のあと紋子嗣祖様による祝詞の奏上、大麻祓の儀に始まり、次に齋主教祖様が祝詞を奏上すると共に護摩祈祷を厳修。

全祈願者の芳名簿の読み上げと御守りを護摩火にかざしてのご祈祷を執行、更に教祖様が御神前にて神歌を奉唱された後、齋主教祖様、役員、参列者の順にて玉串奉奠、最後に昇神の儀をもつて儀式の部を終了。

このあと修練道場に於いて直会の部に移り、慣例により「冬至かぼちゃ」が全員に振る舞われ、新しい年への期待をこめながら全員で歓談しました。なお、教祖様は新年に向けての信仰者の心の在り方などについてご教話をなされました。

平成二十九年度
冬至星祭り

厄除け開運のご祈祷を執行

開運の護摩祈祷



3月23日(金)・午前11時より
春彼岸
塔婆大供養祭
◎春の彼岸にあたり、塔婆にてご先祖ゆかりの霊、万霊を供養し、お焚き上げを致します。
大和教本廳

神道豆知識

祝詞とは？

さて、今回の神道豆知識では、「祝詞」について学んでみましょう。

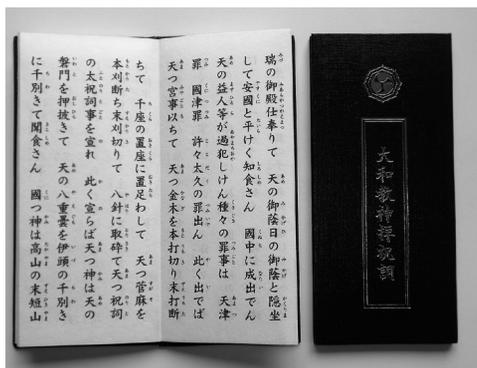
教祖様が祭祀を執り行われるときに必ず読み上げられるのが「祝詞」です。祝詞とは、宣る詞、の意味ですが、わかりやすく表現すると「大神様に崇敬の意を奏上し、併せて祭祀を行う意義や目的を述べて、大神様のご神徳と、ご加護を願う」ために唱えるものです。

祝詞はなにか難しい言葉のように聞こえますが、それは日本固有の大和言葉が用いられているせいでもあります。しかし、その内容は「祈願者が参っており、このよう願う事をしており、ます。つきましてはどうかうまくいきますように、恐れ多くも申し上げます」大まかに言うと、教祖様は大神様にそのように述べ

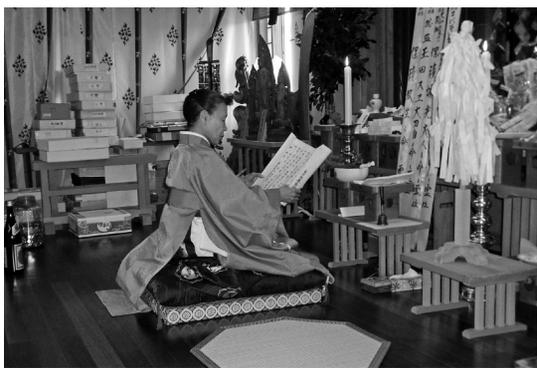
られているのです。

■悪い言葉は使わない

祝詞では悪い言葉は使えません。日本では古くから「言葉」と言われ、言葉には霊的な力が宿っていると信じられて来ました。良いことを言えば良い



大和教神拝祝詞



祝詞を奏上される教祖様

気持ちよく 清々しく 楽しく 幸せと生きよ

編集後記

大相撲初場所は、ジョーシア出身で平幕の栃ノ心が見事に初優勝を果たしました。

昨年十一月の「日馬富士暴行事件」を皮切りに、次々と新たな事件が表ざたになる相撲の世界(公益財団法人日本相撲協会)。

世間の人もほとほと呆れ果てていたなか迎えた初場所、モンゴル人でもなく日本人でもない、青い目をした栃ノ心の優勝を、一服の清涼剤のように感じたのは筆者だけでしょうか。

平成三十年年度

信徒会総会開催のお知らせ

信徒会会員はぜひご参加ください



千葉藤男会長

■日時 平成三十年二月二十五日(日) 午前十一時開始

■場所 大和教修練道場

■議案 前年度行事報告・収支報告

他 今年度行事予定・収支予算案

毎月の行事案内

月参り(一日)

毎月の月初めにあたり、信徒一人一人が家内安全を初めとして諸願成就を祈願致します。参列者は全員ご神託を頂きます。

引き続き霊様の供養、霊下ろしが教祖様によつて執り行われます。

参列できない方は、電話・FAXにても受付いたします。

月次祭(毎月第二日曜日)

月次祭は、大神様のお恵みに感謝し、なお二層の御加護を戴くよう、護摩祈禱火祭を執り行います。護摩木に一人一人の名前を書き、火祭り祈禱致します。特別祈禱も教祖様の手によつて二件づつ、祈禱されます。

◎祈願料(一人)三〇〇円

※紅白護摩(紅白でめでたく納まる大変縁起の良い護摩です。一対で二、〇〇〇円)

◎特別祈願料(祈願に応じた初穂料) 供養祭(二十三日) 毎月二十三日、先祖供養を初め万霊供養の霊祭を執り行います。塔婆を書き、お花、供物を捧げて、霊様の成仏浄化をお祈り致します。

特に春彼岸、秋彼岸には、三尺塔婆に供養を託し、お焚き上げを致します。

◎供養料(一柱) 三〇〇円

◎塔婆供養(一柱) 一、〇〇〇円

(一柱、大) 三、〇〇〇円

他に特別供養も致します

駐車場総合コンサルタント 株式会社ダイヤパーク

代表取締役 中村 望成

- 駐車場受託経営(駐車場数:400ヶ所・10,000台以上)
● 駐車場総合コンサルタント
● 月極駐車場の利用者募集
● 駐車場関連機器の販売、施工



本社/〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目6番22号
TEL (022)261-4397 FAX (022)267-4762
東京支店/〒102-0076 千代田区五番町1番地9M市谷ビルディング3F
TEL (03)6261-3701 FAX (03)6261-3702
盛岡支店/〒020-0024 盛岡市菜園一丁目3番6号 農林会館10F
TEL (019)606-5415 FAX (019)606-5416
大阪支店/〒540-0012 大阪府中央区谷町二丁目3番1号 タネビル2.9F
TEL (06)6942-6520 FAX (06)6942-6521
http://www.daiyapark.com/

不動産売買・不動産賃貸・不動産管理・不動産コンサルティング・貸会議室運営・ホテル事業

株式会社いぶきエステート

本社/〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目6番22号

TEL: 022-225-6282 FAX: 022-261-3132

□東京支店

〒102-0076 東京都千代田区五番町1-9

TEL: 03-6261-3703 FAX: 03-6261-3702

□ホテルホットイン石巻

〒986-0854 石巻市大街道北一丁目4-17

TEL: 0225-92-6111 FAX: 0225-92-6112